

BLOOD PURIFICATION THERAPY



ヘレネAOビルクリニック

血液浄化療法

治療コーディネーター

院内配布資料
(広告物ではありません)

HELENE AO bldg.Clinic

血液浄化療法

Blood Purification Therapy

血液浄化療法とは？

About Blood Purification Therapy

血液浄化療法は、保険適用治療としては30年以上の歴史があり、大学病院を中心に肝炎や循環器疾患（閉塞性動脈硬化症、家族性高脂血症）、膠原病や特殊な皮膚疾患など重篤な患者様に対し、目覚ましい成果をあげている治療技術です。

当院の血液浄化装置は、東レ・メディカル株式会社のTR2020を利用しております。



期待できる効果

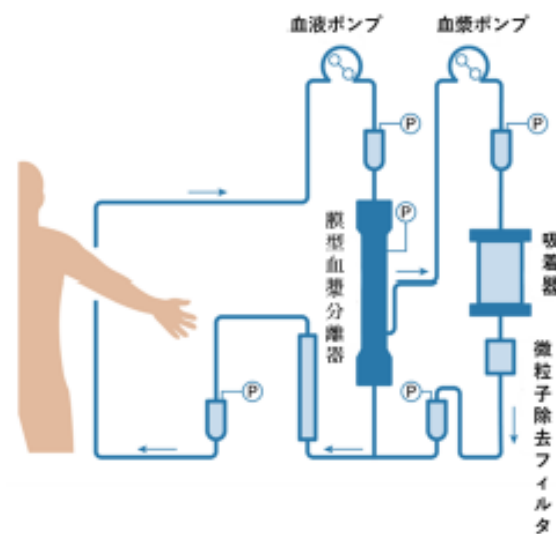
- 動脈硬化の原因となる脂質や炎症細胞等の直接的除去
- 血管内皮機能の改善
- 血流の改善とそれに伴う肩こりや冷え等の自覚症状の改善
- 生活習慣改善へのモチベーション向上 等

治療後にこのろ過膜（にこびりついた脂）を見て、生活習慣改善に取り組む危機感をつのらせ、やる気が高まった方がたくさんおられます。

1回だけの治療でもその後の血液検査等の経過がよくなった方が複数おられるのも、本治療を通じてモチベーションが高まり、生活習慣が改善されたからだと考えられます。

※悪玉コレステロールや中性脂肪などの数値は、1回の治療で劇的に改善しますが、血液検査数値の低下自体はお薬でも可能です。血液を「直接的に」浄化できることが、この治療の一番の特徴です。

※治療後も、生活習慣指導やお薬での標準治療を並行して健康状態の改善をはかります。



血液浄化療法の流れ

STEP 1 カウンセリング

医師が状態を診断し、治療の内容について詳しくご説明いたします。
※状況に応じて別途検査(血液検査・レントゲン・心電図など)が必要となる場合がございます。

STEP 2 血液浄化治療

ベッドにて3~4時間、血液浄化を行います。

※事前に院内倫理委員会承認を得た同意説明文書をもとに十分な説明を行い、あくまでも標準治療が優先され、当治療は補助療法であることをご理解いただいた上で治療を行います。

血液浄化療法とは、血液中から病気の原因となる因子（悪玉コレステロールや中性脂肪、炎症物質、ウイルスなど）を特殊なる過膜を用いて分離、病因物質を除去してきれいになった血液を体内に戻すことで、健康状態の改善をはかる治療法です。

対象となる方

当院では、主に標準治療で十分な治療効果を得られない生活習慣病に対する治療選択肢の一つとして、以下の病態に対して自費診療での血液浄化療法を行っております。

- 脳梗塞、心筋梗塞のリスクのある方(特に糖尿病の方)
- 血液検査や血圧は正常なのに動脈硬化性変化があり、お薬の適応はないが、積極的な対策を希望される方
- 標準治療を受けていても脳梗塞や心筋梗塞になってしまった既往のある方
- [他にも下記の病態が治療適応となります]
- (難治性)アトピー性疾患
- 突発性難聴
- 加齢黄斑変性

以下の方には治療をお断りする場合がございます。予めご了承ください。

- ・医師の診察により当治療が適応ではないと判断された方
- ・標準治療を受けていない方
- ・1回の治療で完治することを期待される等、
- ・治療リスク等の理解が難しいと判断される方
- 予防治療の意義を正しく理解できない方
- ・美容効果等、当院が適応とする対象疾患をもたない方 など

血管老化を予防する積極的な対策として

健康意識の高い皆様の中にも、緻密なドックや定期的な診察を受け薬を服用しているにも関わらず、悪玉コレステロールの数値が下がらなかったり、メタボの状態が続いたり、血管老化が認められる方が少なくありません。脳梗塞や心筋梗塞など、血管が詰まってしまってから初めて手厚い治療を受けるのではなく、発症前の段階で自覚し、積極的な予防対策をとるという考えが今回の取り組みのテーマです。長年、様々な疾患に対して治療が行われてきた信頼ある治療法です。標準治療を補う積極的な予防対策として是非ご検討ください。

Q & A

- Q 副作用はありますか？**
A 「治療の副作用」血液浄化療法で起こりうる副作用としては、血圧低下(立ちくらみ、めまい、頭痛)が考えられます。
- Q 血液を取り出すと聞くとちょっと怖い気がします、危ない治療ではないのですか？**
A 「血液浄化療法」は日本で30年以上も歴史がある治療で、重症な病気ではほとんどの大学病院などで用いられていて、副作用の少ない安全な治療として知られています。当院でも「安全に治療を行う」ことを第一優先にしています。ですが、どんな治療でも副作用のない治療はないのですから、副作用の可能性について一人ひとりの患者さんとじっくり話し合って納得を得てから治療を開始します。むしろ、何でも新しい治療にすぐとびつくのではなく、「効果の代わりに副作用の危険性はないのか」と考えることはとても大切だと思っています。「治療」は受けなくて済めばその方がよいのです。それでも、「治療」を受けることによって症状が楽になったり、重病を予防できる可能性が高まるのであれば、治療を受ける可能性を慎重に検討する価値はあると思います。
- Q 「血液浄化療法」は痛くないのですか？**
A 通常の点滴をする時と同じくらいか、少し痛い程度です。最初に針を刺す際チクリと痛い後は受けている間の痛みはありません。傷は数日で見えなくなります。採血などでアザになりやすい方も、終了後の圧迫止血に十分な時間をかけることでアザを防ぐことができます。
- Q 治療なのに保険診療で受けられないのですか？**
A 保険診療で受けられる病気の場合は保険診療で対応(または今回チームに入っている大学病院へご紹介)いたします。高額医療である「血液浄化療法」は命に関わる重症の病態や、他に治療方法がないような病気には保険適用になっていません。保険適用の対象となるほど重症になる前に、「血液浄化療法」の効果が期待される患者さんに、自費診療で悪化を予防して頂くのが今回の治療です。